

令和3年度 第3回 液化石油ガス設備士講習
配管理論等検定問題に係る誤りについて

令和3年10月22日
高圧ガス保安協会

令和3年10月15日（金）に実施いたしました液化石油ガス設備士講習の配管理論等検定問題において、以下の誤りがありました。

受検者の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後、このようなことのないように、検定試験の問題については一層厳格なチェックを行います。

<誤りのあった問題>

液化石油ガス設備士講習：「配管理論等検定問題」の問3 問題文

3. LPガスの性質などに関する次の記述のうち正しいものはどれか。

イ. 一般消費者等に供給するLPガスの「い号液化石油ガス」の規格には、プロパンおよびブタンの合計量の含有率（モル比）が80%以上と定められている。

ロ. 一般消費者等に供給するLPガスには、空気中の混入比率が容量（体積）比で千分の一である場合において感知できるように着臭されている。

ハ. プロパン、ブタンなどは、ガスの比重が1より小さいガスであるため、漏えいすると低所に滞留する。

ニ. LPガスは金属に対する腐食性がないため、LPガスによって容器、配管の内面が侵されることはほとんどない。

- (1) イ、ハ (2) イ、ニ (3) ロ、ハ
(4) イ、ロ、ニ (5) ロ、ハ、ニ

下線部においてプロパンおよびブタンの合計量とあるが、正しくはプロパンおよびプロピレンの合計量である。

<対応>

今回の配管理論等検定問題の誤りについて、液化石油ガス設備士講習・修了試験分科会で検討を行い、問3については正しい選択肢がないことから、受検者全員を正答として扱うことといたします。

本件連絡先 高圧ガス保安協会 教育事業部
及川、山崎、篠田
電話：03-3436-6102